

福野地域 会議録

件名	福野地域提言実現検討組織 3グループ合同会議		
日時	令和元年 12月2日(月) 19時~21時	場 所	福野庁舎 1階 102会議室
出席者	拠点づくりGメンバー:3名、空き家等活用Gメンバー:4名、人づくりGメンバー:2名、地方創生推進課:2名		
内容	・各グループからの検討の進捗状況報告と質疑応答、 ・今後の方向性について		
概要	<p>◆人づくりグループからの報告</p> <p>郷土愛を育む、あるいは、まちづくりに興味を持ってもらえるような人材育成のためのコンソーシアムの創設に向けての検討について説明。</p> <p>◆質疑応答</p> <p>(○…人づくりグループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)</p> <p>●報告を聞いて、とてもワクワクした。まず、仲間集めの際のインセンティブは何か？そして、仲間になったらどんなことが出来るのか？また、この団体が活動を続けていくには、任意団体よりも法人が良いのではないかとも思うが、団体のこれからの方向性が見えていれば聞かせてほしい。</p> <p>○法人化のイメージは、今のところは持っていない。現在のグループメンバーが主に中心になって企画に携わることになるかと。その他、取材や記事を書くメンバーも必要になってくる。この人たちは、中心メンバーとは同列ではなくて、この団体の中で階層的なものになるだろうと考えている。責任の度合いが違ってくる。</p> <p>仲間集めのインセンティブは、稼ぐということではない。今のところ、お金ではないところで動いてくれる人の参画を想定している。提言にも入れていたが、高校生など学生による応援も考えている。学生が参加することで、地域の大人を知ったり、地域の大人と関わることで社会でのマナーを身に付けられたり、というメリットも想定される。また、学生の視点により、達人や匠の方々のこれまでの見方に気付きが生まれることも想定される。この団体の仲間になったら、間違いなく福野オタクになれるだろう。</p> <p>出来ることからやっっていこうと話しているところ。興味深い活動だと思ってもらうことを重要視している。今後の仕組みとしては、学生や退職後の教員、福野のことが好きな人など、お金ではないところで動いてくれる人がある程度集まった段階で活動出来るのではないかと思っている。そして、事務局機能をしっかりさせて、地に足のついた活動が出来るようにしていきたいと思っている。</p> <p>○現在、メンバーが3名しかいない。地域を知る、ということからも、市役所職員にはメンバーに入ってもらえたら良いと思っている。皆さんからも是非、周りの方への声掛けをお願いしたい。</p> <p>○こういう活動に関わることそのものが、人づくりだと思っている。</p> <p>●高校生を巻き込むのは良いこと。また、団塊の世代の持っている能力を活かすことも大切にしたい。例えば、高校生と団塊の世代とのマッチングによる化学反応で、新たな福野の魅力が発見されるようなことが起こるかもしれない。団塊の世代を眠らせないためにも、是非頑張ってもらいたい。</p> <p>●人と人がつながった後の、次の取組の具体的な内容まで説明があると、より説得力があると思う。</p> <p>○次の段階として、例えば、事務局同士の化学反応についても、今後きちんと設計したい。実際に活動がスタートすると、達人たちとのコラボレーションで新しいものが生まれる可能性として、今まで関わりのなかった人が出会うきっかけになるかと思うが、この点についても、今後アイデア出しをしていきたい。</p> <p>●ちなみに、達人第1号を誰にするのか予定はあるのか？</p> <p>○次の会議に向けての宿題となっている。声の掛けやすい方になるだろうか。お勧めの方がいらっしやったら、是非教えてほしい。今後開催予定の住民との意見交換会の場で、1人目の方を紹介できれば、容易にイメージしてもらえるかと思っている。</p> <p>●歴史や文化の分野だと、達人も比較的見付けやすいかと。中部地区なら、町並みの歴史、夜高行燈の歴史などになるだろう。詳しい方々がだんだんと亡くなられて、貴重な話が聞けなくなっている。まちなかには、まだ詳しい方がおられるので、人伝てに探すことも可能だろう。</p> <p>○町の語り部が少なくなっていることに危機感を覚えている。今のうちに、語り部から話を聞いて、次につないでいきたいとも思っている。</p> <p>●村部にも、村の歴史に詳しい老人がいる。</p> <p>○是非、そのような方たちとつなげていただくとありがたい。以前、このグループの会</p>		

議で、福野の事を良く知ることの出来る「ふくの学（仮称）」を作っていきたいとも話していた。せつかく作るのだから、市民の皆さんに使っていただけるように情報発信したい。そして、様々な世代の人を巻き込んで取り組んでいけたら、と構想は大きく持っている。

◆拠点づくりグループからの報告

ファブリカ跡地への、福野中部交流センター機能と福野産業文化会館機能を盛り込んだ複合交流施設の建設に向けての検討について説明。

◆質疑応答

(○…拠点づくりグループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)

→ポイントは、活用対象範囲を福野地域全体とされている点かと。福野地域の皆さんに使ってもらうためには、ソフト部分の充実が不可欠。今後、ソフト部分もしっかりと考えてほしい。

●住宅開発については、何戸程を想定しているのか？

○市営住宅のみじ野団地の建て替え案の1つとして想定していると聞いている。現在の2棟を1棟にする計画案もあるように聞いている。

●自分なりの感想として、まず、試算して、採算が取れるかどうかまで計算されている点が印象的だった。福野中部まちづくり協議会の予算を見込んだとしても、不足額がこれだけある、と試算出来ただけでも大変素晴らしい。ただ、この不足分の対応について、「市からの委託料をもらって、」という説明では実現は難しいのではないかとその不足部分をどのような方法でクリアしていくのか。利用対象者の範囲を福野地域全体としているのであれば、福野地域全体として絶対に欲しい機能や、必要な機能が何なのかをもっと厳選すべき。地主は市なのだから、市自身が地主の立場で考えていく必要もあると、改めて考えさせられた。民間と一緒に、この事業者となら一緒に取り組みたいという民間事業者を見つけて取り組むことも必要なのではないかと聞いていた。

また、住宅開発の点について、用途地域内への住宅建設に対する助成制度創設の意見があったが、それは不要ではないか。高くてもこの場所に住みたい、という人に住宅を建ててもらわないと、先程の人づくりグループの報告にあった、能動的な地域にはならないと思う。もし仮に、ファブリカ跡地に住宅開発をするのであれば、そこに魅力を感じた人に住んでほしいと思う。助成制度があると、その助成制度を理由にする人が住むことになるから、住み続けたい場所にはならないと思う。

○複合交流施設新設については、福野地域の地域づくり協議会連絡会としても市に要望している。福野中部交流センターや福野産業文化会館については、ヘリオスとの複合化の可能性も打診されているが、ヘリオスは用途が違うし、また、福野中部の住民からもヘリオスの利用は不可能との意見を聞いている。それから、こちらからの資料にあった平面図について、高齢者スペースと子育てスペースは福野中部交流センター機能としてではなく、福野産業文化会館機能とするのが適当ではないだろうか。面積は必要最低限になっているつもりである。

→先程のご質問は面積そのもの話ではなく、300万円余りの収支のずれについて、今後開催される住民との意見交換会にて、収支の改善方法をもっと検討すべきではないかという意見が出た時に、本当に「市にお願いする」と言い切ってしまうのか、それとも、もう少し理論武装する必要があるのではないかと、という内容だったかと思うが。

○この複合交流施設は、地域の課題解決のための施設でもある。地域の課題解決は、そもそも行政でやるべきことなのに、小規模多機能自治で行うのだから、市からの若干の支援があるべきと考える。たまたま、福野中部まちづくり協議会が福野地域全体を網羅して取り組もうとしている。1個人の趣味でやっていることではない。

●福野地域で廃止する施設がそれなりにあるのだから、その分の経費は浮いてくるはず。そう考えると、今言っている300万円余りの収支のずれはたいしたことないのではないかと。

●施設の面積計算の根拠は？廃止する面積の半分の数字なのか、必要な機能の面積を積み上げた数字なのか？

○福野産業文化会館をイメージしながら、必要な機能の面積を積み上げた数字である。結果的に、廃止する面積の半分となった。

●必要な機能分の面積は確保されているということか？旅川福祉交流館については、調理室が必要な機能として、複合交流施設にも盛り込まれているようだが、入居している福祉作業所のメイプル福野などについては、その機能が施設には盛り込まれていないようである。この点についてはどのように考えているのか？施設を廃止すると言うのであれば、既に入っている機能の次の行き先を考えてあげるべきではないのか。

○旅川福祉交流館に入居されているメイプル福野などの福祉的機能については、行政から

必要だと言われれば盛り込むこともやぶさかではない。盛り込むかどうかは、行政の判断に因るところだと思っている。このグループでは盛り込む理由が見当たらないので、現段階では説明出来ない。メイプル福野の関係者もこのグループに参加していただいているが、この点の検討は現在保留となっている。

- 福野庁舎を廃止にするのだから、資料にある今回廃止対象面積は、廃止施設そのものの面積である 8,190 m²に合わせた方が分かりやすいのではないか。
- 既に廃止する面積の 50%以下となっているのだから、半分にこだわる必要はない。
- 面積はあくまでも一つの目安であって、大事なのは、面積を小さくすることで建設費用が抑えられたり、維持管理費が半分になったりするという点である。
- 先程の報告では、今この福野にとって、役に立ち、且つ、前向きな施設にする、ということであったが、だとすれば建てた後の施設のもたらす効果が大事になる。
- 先程、ヘリオスとの用途が違うといった意見だったが、他の施設と機能的にどのように違うのかが分からない。その点をもっと明確に説明する必要があるかと思う。
- ヘリオスと福野産業文化会館との大きな違いは、利用料金。
→現在、利用料金の見直しを行っている最中で、新しい料金体系の情報は、今後、拠点づくりグループの会議の折に提示したい。
- テナントとして 4 区画を検討されているようだが、福野産業文化会館の入居団体の他に、どんな方の入居を想定しているのか？魅力的なテナントを誘致するようなことは検討されたのかどうかを聞かせてほしい。
- 物販テナントについては、コンビニエンスストアのようなものが入ってもらえたら、と話していた程度。あてがないので、詳細な検討は出来ていない状況。
- この施設の機能で利益をあげられるのは、テナント部分になるだろう。
→テナント部分を、飲食も可能な貸事務所とした場合、提示の 25 m²で果たして利用可能かどうか、足りるのかどうかという点も十分に検討されるべきかと。
- 行ってみたくなるような仕掛けをテナントに盛り込んだ方が良いのではないか。現時点のものは、単なる公民館にしか見えない。

◆空き家等活用グループからの報告

- ① 駅舎・JR福野駅前の利活用、
- ② 福野庁舎跡地の利活用、
- ③ ファブリカ跡地の利活用、
- ④ 空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進に係る検討について説明

◆質疑応答

(○…空き家等活用グループメンバー発言、●…他のグループメンバー発言、→…事務局発言)

- 福野庁舎敷地の利活用については、単に宅地造成して売りっぱなしにするのではなく、どんな付加価値を付けて売れば良いかを検討している。どうしたら魅力的な宅地となるのか、必然的に人が集まるような仕掛けを、どのようにして宅地のエッセンスとして盛り込むか。地主である市が、どのようにして売り切るのか、ということも考えていくべきだろう。
- この場所なら、デベロッパーが買うかもしれない。
- エコタウンなど、お金ではない価値をこの場所に見出していか、あるいは、自分たちが民間会社を設立し、アパート経営しながらこの宅地を売り切るとか、などの意見があった。今後の住民との意見交換会に向けて、この点の検討も詰めていきたい。また、グループの検討に専門家が加わっていただくと、議論が一気に進むので、今後、様々な分野の専門家の話も伺いたいと思う。
- 福野庁舎の利活用の件で、宅地開発の有効期限が 4、5 年以内とのことだったが、市民センターの移転を、新設する複合交流施設へと考えた時に、一度で移転するのは難しいかもしれないので、例えば、2 段階で移転する方法もあるのではないか。
- 今日はグループ間の調整会議でもあるから、福野地域提言実現検討組織としてのスケジュール感をメンバー全員で共有してもよいのではないか。そこで、今日の話を経験すると、まずは 3 年程掛けて施設整備し、次に庁舎解体、宅地開発、といった流れになるだろうか。
- そのスケジュールで、5 年以内に宅地を売り切ることが出来るだろうか。
- せっかくの場所に、不要な建物が残り続けるのは、福野地域にとってもムダなことである。市としても、早急に結論を出して、先に進んでほしい。
- 福光庁舎への庁舎機能の移転が決まっている以上、残った庁舎について今後の対応を早急に進めてほしい。
→福野地域提言実現検討組織としての、大まかな方向性が見えた気がするので、皆様のご理解が得られたと理解したい。

◆次回会議

○人づくりグループ会議

日時…令和元年12月16日(月)午後7時30分から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…具体的な取組内容の検討

○拠点づくりグループ会議

日時…令和2年1月15日(水)午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…複合交流施設に必要な機能と具体的な取組の検討

○空き家等活用グループ会議

日時…令和2年1月16日(木)午後7時から

場所…福野庁舎1階 102会議室

内容…付加価値の検討

◆福野地域提言実現検討組織による住民との意見交換会

日時…令和2年2月29日(土)午後7時から

場所…福野体育館 会議室1・2

内容…提言実現に向けた検討結果を地域の皆さんに広く知っていただく

福野地域提言実現検討組織

3グループ^o会同会議

R元.12.2(月)

各グループから会議の進捗報告 及び質疑応答

① 人づくりグループ



Q. 中間のインセンティブは?
団体の形態のイメージは?

A. 今の検討メンバーはコアメンバー
取材. 記事のスタッフが + α
福野オタクになれる.

(Ex) 福の高新聞部にアプロ-チもあるか?

"おもしろい事やスんじやない?!"
と思ってもらえる様に

活動自身が「人づくり」

Q. 高校生と一時代と築いた世代との
つながりは非常に興味深い。
化学反能で新たな福野の魅が^{発見} ^{かた}

A. がんばります!

Q. 人と人とのつながった後の、次の取組の
具体的な内容はあるか?

A. これまで話し合ったことはない。
どこまで想定できるのか
アイデアを出したい。 ^{事務局} ^{同士}
^{達人} ^{同士}

Q. 達人の第一号は?

A. 次回の宿題となっている。
今後の住民の意見交換会で紹介できたらと。

Q. 福野の歴史を子どもたちに伝える
のが早道かと。

A. 語り部にもなっていただけたら...と
思っている。今のうちに話をきいて
次につなぎたい。
「ふくの学」を制作したいと話していた。

② 拠点づくりグループ

Q. PFI方式による住宅開発では何戸設置されるのか?

A. もみじ野団地の立替えと聞いている
2棟 → 1棟 だろうか?

Q: 試算の不足分をどのように実現できるか。

福野に欲しい機能を、研究すまいて考えていくのか。

地主としての市の立場も明確にすべき!

人を見つけ、「この人に!」というの必要か?

・住宅 - 高くても「ここに住みたい!」という人が重要なのではないか?

A: 既存施設も考慮して、精一杯の大きさ(広さ)かと思っている。

・地域の課題解決のための施設の位置付け。中部+福野地域全体 =

福野が元気になる

行政からの若干の支援はほしい

Q. 面積計算

必要部分を積み上げた、ということか?

A. 廃止する面積の半分を意識して。積み上げると半分になった。

Q. 旅川福祉交流館の機能はこの施設に入っているのか?

A. メイプル福野については、検討保留中。行政が入ると言われればやぶさかではない。

Q. 面積半分にこだわる必要はないのでは? かかる費用が大事

経費が半分になること
施設のもたらぬ効果) 大事

Q. △リオスとの用途の違いについての説明がもう少しあると説得力になるが。

A. 料金の違いが大きい。

Q. 団体用テナント

- ・ 誰(どんな団体)を規定しているのか?
- ・ 物販はどうか?

A. 物販はコンビニ等が入ってくると、
収入源になると良いが、テナはなし。

Q. 行ってみたいくなるような仕掛けが必要か。
この内容だと、公的施設には見えない。

③ 空き家等活用グループ

Q. 市民センターも2段階で引っ越ししては?

A. 行政からは1回で引っ越してもらう方が良く、
と言われていたが。

Q. 庁舎の利活用については、早く結論を
出してもらった方が良く。

① 福野地域提言実現検討組織の スケジュール感



◆ 次回会議 ◆

● 人づくりグループ

(R元. 12/16 (月) 19:30~
・ 102 会議室

● 拠点づくりグループ

(R2年. 1/15 (水) 19:00~
・ 102 会議室

● 空き家等活用グループ

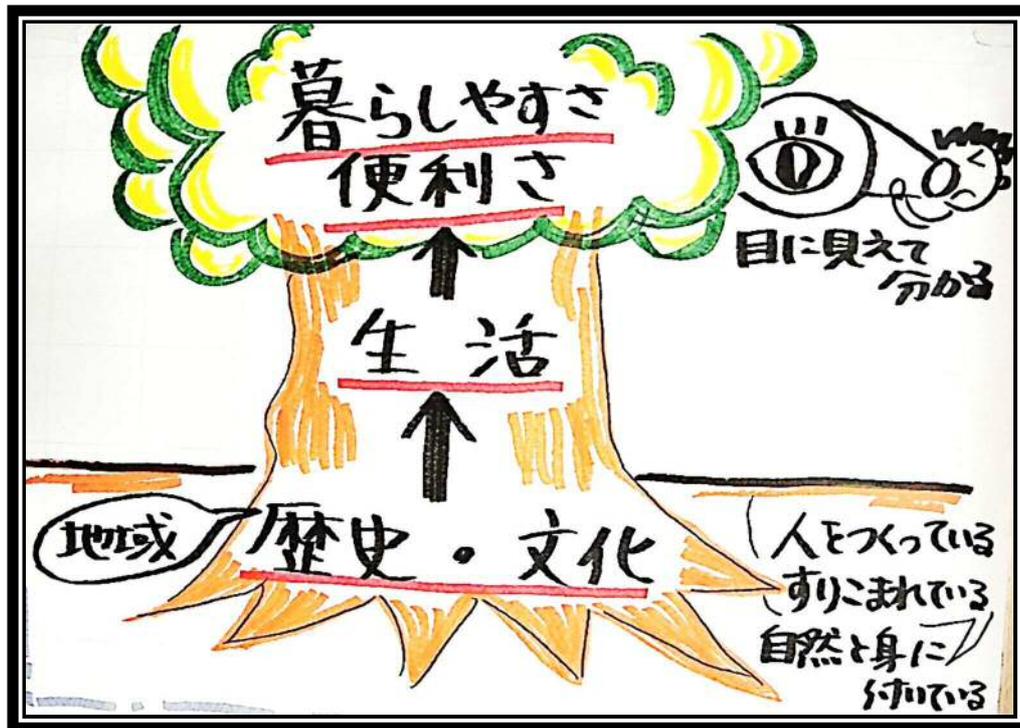
(R2年. 1/16 (木) 19:00~
・ 102 会議室

◆ 福野地域提言実現検討組織 による 住民との意見交換会 ◆

・ 日時 - 令和2年2月29日 (土)
午後7時

・ 場所 - 福野体育館 会議室1・2

人づくりグループ 配布資料



<名称>

(仮称) MANA-VIVA (学び場)

<理念> (仮)

私たちは「心の根っこ (Roots)」にたっぷりの愛を注ぐことで、能動的な生きている地域を創造します。

私たちは 地域の宝をつなぎ、共に学び合いの輪を広げ、様々なネットワーク構築をはかります。

<基本方針>

1. 多彩な「人」資源を発掘する。
2. 地域に愛着がもてる「学びの場」を提供する。
3. 「人」的ネットワークを構築する。
4. 人づくり –能動的な「人」をつくる–

○サケが生まれた川に戻ってくるように、進学・就職いったん外に出ても、いつか大きく成長して「愛着のあるこの町に戻りたい！住むことはできなくても応援したい！」という気持ちにさせる魅力あるふるさとづくり

福野地域提言実現検討組織【拠点づくりグループ】検討資料

I 複合交流施設

1 公共施設再編計画の視点からの試算（案）

(1) 福野地域内でのスクラップ & ビルト で50%削減目標

新しい核となる拠点施設					廃止する施設		
施設名	行政施策との関連	施設区分	施設内容/規模のイメージ		延床面積(m ²)	施設名	延床面積(m ²)
複合交流施設	小規模多機能自治の推進	中部まちづくり協議会	事務室		20	福野産業文化会館	1,062
			多目的会議室	150名規模	250	福野中部公民館	87
			会議室2	50m ² ×3	150	ひびきの家	194
			調理室		60	(福野庁舎)	(5,578)
			物置等		20	内、行政センター707	285
	高齢者の地域で支え合う体制づくり	高齢者の居場所づくり	高齢者交流スペース	40名規模(40畳)	60	旅川福祉交流館	1,269
	子育て支援	放課後児童の居場所づくり	児童学習スペース	40名規模(40畳)	60	共同作業所はファブリカ跡地(マツ園)へ、就労支援はメーブルへ譲渡を検討	
			幼児子育て空間				子育て交流スペース
	行政改革	行政センター	行政サービス窓口		150		
	観光の推進	産業・観光等PR空間			50		
	生涯学習	一般サークル活動等	会議室2	45m ² ×2	90		
	持続可能な運営	テナント空間	一般テナント	25m ² ×3	75		
			物販テナント	30m ² ×1	30		
インテリアとギャラリー空間			芝生広場へのインテリアとギャラリー空間	100			
	その他空間	玄関/ビュート/廊下/トイレ空間等(延床面積×0.3)		330			
	(屋外空間)	(芝生広場)		(1,000)			
	(駐車場)	60台×20m ² /台		(1,440)			
合計	今回廃止対象面積に対する50%			1,445			
施設の目標面積	廃止面積に対する50%目標面積				(4,100)		廃止面積
	今回廃止対象面積に対する50%目標面積				1,450	今回廃止対象面積	2,897
	// から旅川福祉交流館を除く50%目標面積				(820)		(1,628)

4 整備手法及び維持管理運営の検討（案）

【PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携)】

PPPには、PFI方式、指定管理者制度、公設民営(DBO)方式、包括的民間委託、自治体業務のアウトソーシングなどの手法が含まれる。

整備区分		整備手法	建設主体	所有権	維持・管理運営	備考
①	複合交流施設 単体整備	従来方式 (公設公営方式または公設民営方式)	南砺市	南砺市	市からの委託を受けて、中部まちづくり協議会が主体的に運営	
②	複合交流施設 と住宅を一体 整備	民間活力活用方式 (PFI方式)	民間事業者	市が区分所有又は 賃貸契約(複合交 流施設部分)	中部まちづくり協議会が主体となって運営	
				民間(住宅部分)	民間事業者	

5 複合交流施設で取り組む内容（案）

施設区分	取組内容(新たな賑わいづくりに向けて)	運営方法	取組根拠(コース等)	取組効果
中部まちづくり協議会 交流センター707	中部まちづくり協議会の生涯学習/ 人づくり部会、高齢者支援/介護予 防部会、子育て支援部会、伝統産業 再生部会等8部会の活動	中部まちづくり協議会	小規模多機能自治の推進	地域の課題解決
高齢者交流スペース	①高齢者の居場所づくり(コヒート カ) (中部地区及び全地域の高齢者 を対象)	中部まちづくり協議会の 高齢者支援/介護予防部 会(民生児童委員、地域福祉推 進員、NPOボランティアなど)	中部地区アクト(カ)など生きがい づくり/重要度認識51%)	日中の高齢者一人暮らしを 避け、ホウ防止
	②健康体操&カ(中部地区及び 全地域を対象)	中部まちづくり協議会、 スペース推進員	中部地区アクト(健康体操など健 康づくり/重要度認識57%)	要支援レベルにならないため の健康維持
	③通所型サービスB型事業(中部地 区の要支援1・2を対象)	中部まちづくり協議会と 有償ボランティアスタッフ	市の取り組み方針	要介護レベルに進まないため の健康維持
児童学習スペース	①放課後児童の居場所と学習(福 野全地域を対象)	中部まちづくり協議会の 子育て支援部会を中心に (教員OBなどのボランティアグル ープの検討)	中部地区アクト(子育て支援・放 課後の過ごし方/重要度認識 69%)	プレイの不足及びプレイに行 かない高学年児童の居場 所、共働き世帯の子育て支 援
子育て交流スペース	①子育てママの交流と幼児の遊び 場(福野全地域を対象)	中部まちづくり協議会の 子育て支援部会を中心に (母子健康推進員など)	中部地区アクト(子育て支援・相 談できる場/重要度認識69%)	子育ての悩みが情報交換で き、育児に反映
趣味・サークル活動スペース、 芝生へのエクストラと ギャラリー空間	趣味・サークル活動及びエクストラ・ ギャラリー空間での自由発表	趣味の会又はサークルグループ	生涯学習等の推進、	賑わいづくり

6 持続可能な運営方法の検討（案）

- (1) 施設整備の観点
 - ① PFI方式の検討
 - ② 建設時の太陽光パネル設置等により電気料の節減
- (2) 運営上の観点
 - ① テナントによる収入
 - ② 地域での物品販売
 - ③

7 解決できる課題

- ① 中部まちづくり協議会の活動拠点施設の確保
- ② まちの核となり、交流と賑わいを創出し、まちを活性化
- ③ 子育て支援、高齢者の居場所づくりなど地域が抱える課題を解決
共働き世帯の子育て支援体制を充実させ、若手の定住化を促進

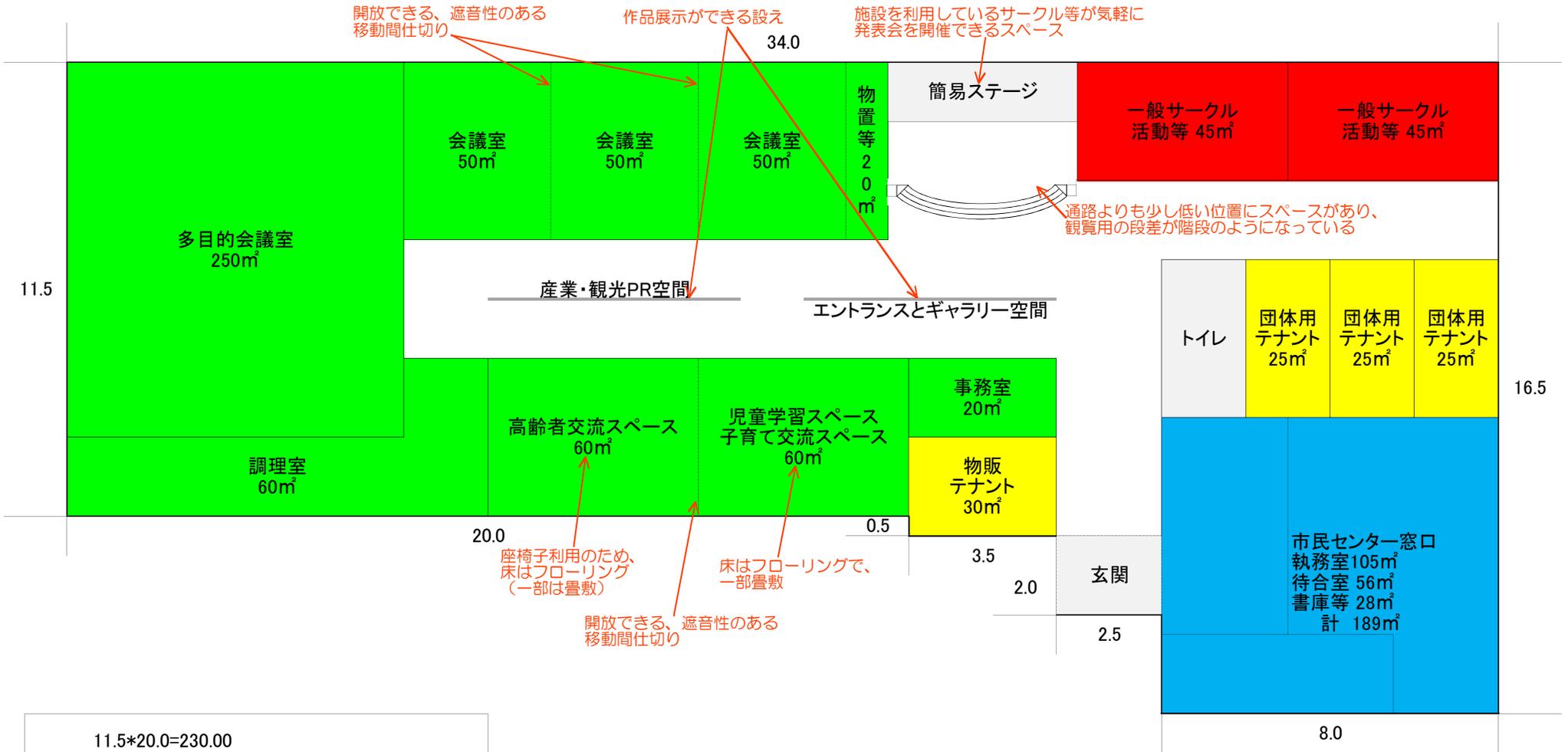
II 住宅開発

- 1 現状と目標
 - ① 南砺市の人口減少対策を福野で実践。（南砺市外からの就労者が多い企業が立地する、福野地域の優位性を活かした定住化対策）
 - ② 保育園、小学校、中学校、高校、そして体育館、図書館等が市外に配置されているまちの優位性、教育環境の良さを生かす。
 - ② 都市計画に沿った、「市外なまちづくり」を推進することにより、まちの賑わいと活性化を図る。

- 2 場所等
 - 市外跡地、庁舎跡地（用地はいずれも南砺市）

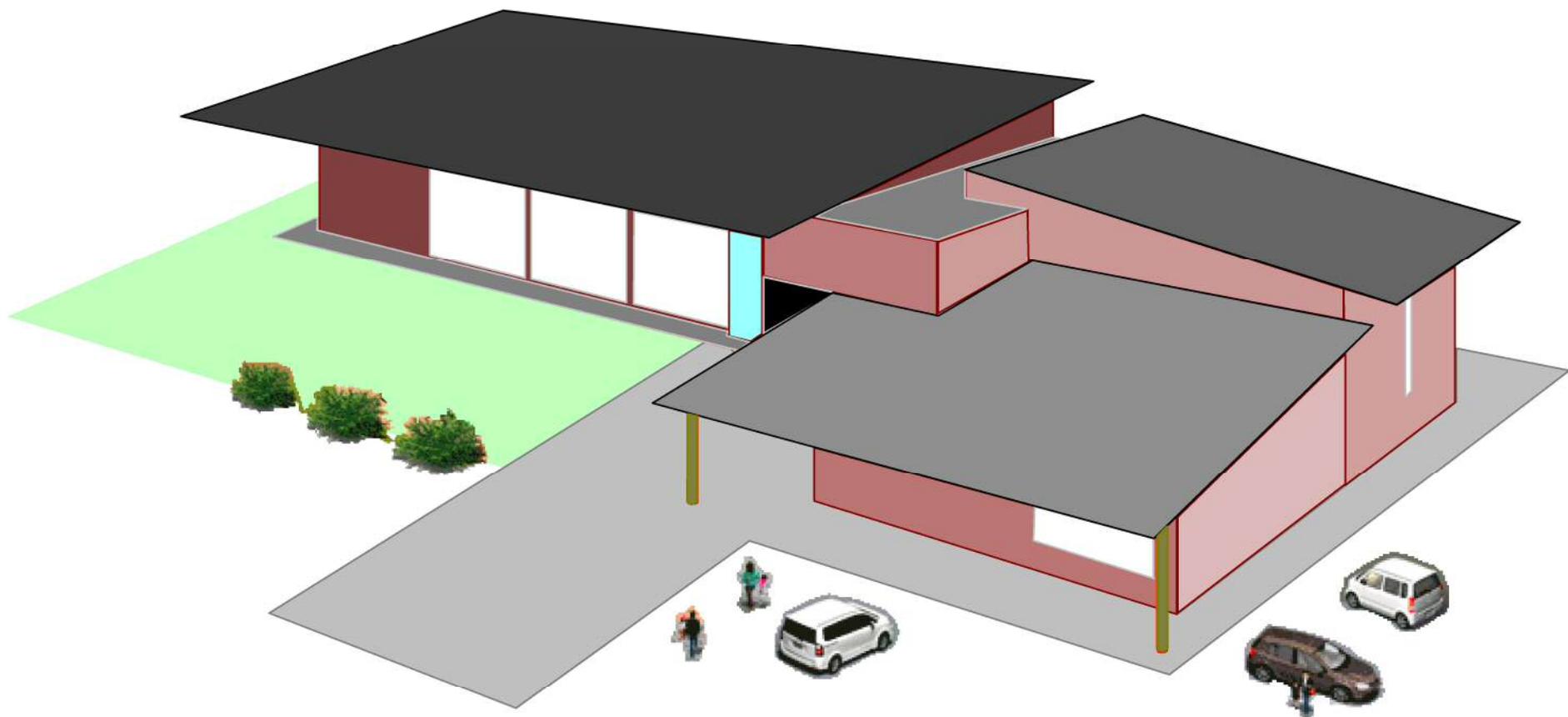
- 3 産官民による整備の支援体制
 - ① 整備主体 民間宅地開発業者
 - ② 行政の支援 「市外なまちづくり」の観点から、用途地域内で住宅開発を行った、住宅の購入者に対する市の助成制度を創設。
 - ③ 市民グループ ボランティアの立場で、企業就労者へのPRや行政、民間開発業者との連絡支援。

福野地域提言実現検討会議 拠点づくりグループ 複合交流施設の検討イメージ案

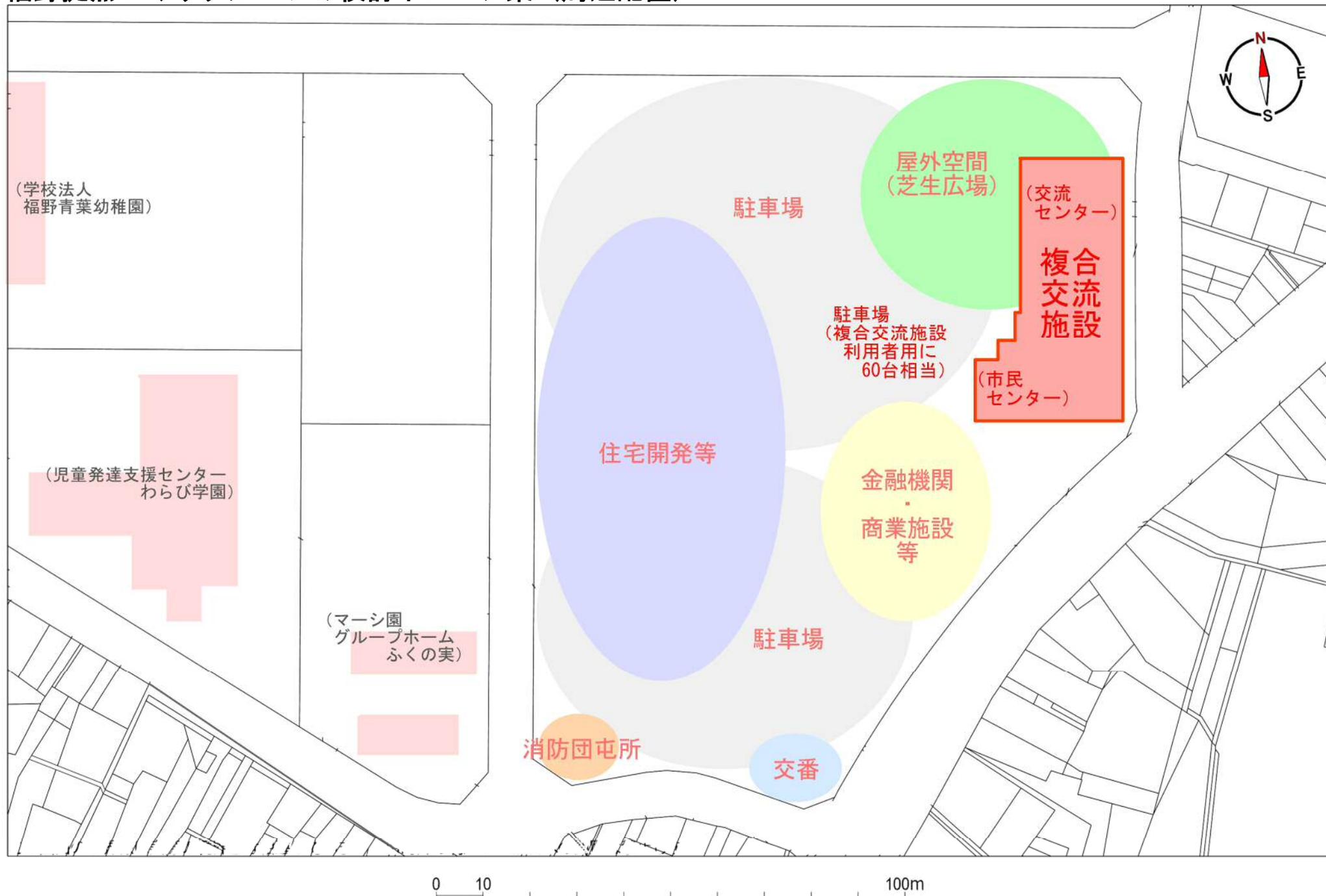


11.5*20.0=230.00	
(11.5+0.5)*3.5= 42.00	
(11.5+0.5+2.0)*2.5= 35.00	1間
16.5*8.0=132.00	
計 439.00	
(1451m ²)	

福野拠点づくりグループの複合交流施設の検討イメージ案（外観）



福野拠点づくりグループの検討イメージ案（周辺配置）



空き家等活用グループ 配布資料

1. 駅舎・J R福野駅前の利活用について

2. 福野庁舎跡地の利活用について

3. ファブリカ跡地の利活用について

4. 空き家・空き店舗に関するリノベーションの推進について